



## 2/1～4 雪質日本一の名寄で全国中学校スキー大会

**第** 49回全国中学校スキー大会が4日間の日程で開催されました。アルペン競技は宮城県蔵王会場、ノルディック競技は名寄会場と音威子府会場で行なわれ、1日の開会式では、出場選手を代表して名寄中学校3年生の山下翔大さんが宣誓。名寄からは全道の予選を勝ち抜いた山下さんのほか同中学校2年生石山健樹さんがクロスカントリー競技（音威子府村会場）に出場し健闘。各会場で若さあふれる熱戦が繰り広げられました。



## 2/4,11,18 ランタンの灯りが幻想的な空間を演出

**地** 域や学校が企画したスノーランタンの集いが4日の総合福祉センター、豊西小学校を皮切りに、11日名寄東小学校、18日には名寄西小学校のそれぞれの会場で開催されました。参加者は、積まれた雪を型枠で円柱状にくり抜き、外側を薄くカットし、思い思い模様を刻みランタンを仕上げました。ランタンに一齐に点火されると、ゆらゆら揺れるろうそくの灯で会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

※このほかにも、地域や職場でランタンやキャンドルづくりが行なわれ、名寄の冬を楽しく過ごす取組みが見られました。



◀スノーランタン、「天の文字」と花火のコラボレーションとなった名寄東小学校会場

▶名寄の夏の風物詩“ひまわり”が浮かび上がった総合福祉センター会場



## 2/10 ヒグマの被害をなくすための講演会

**近** 年、名寄市においてもヒグマによる農業被害が出ていることを受け、市が主催しJ A道北なよろ、名寄市有害鳥獣農業被害防止対策協議会が共催となり市民文化センターで講演会を実施。上川総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係長深沢敬氏からヒグマによる道内、上川管内における農業被害や捕獲状況。引き続き白滝黒曜石遺跡ジオパーク構想推進協議会・野生動物担当岩井基樹氏からも事例を基に捕獲に頼らない予防対策などが説明されました。

